



かたせ

自治連だより

2017年9月20日 第9号

発行 片瀬地区自治連
発行人 島山 義昭
事務局 片瀬市民センター内
電話 0466-27-2711

片瀬地区自治会・町内会一覧

新屋敷ブロック

1. 片瀬弥生会(436)
2. 新屋敷親睦会(365)
3. 新屋敷第一町内会(512)
4. 三部会(99)
5. 新屋敷第二町内会(640)

片瀬山ブロック

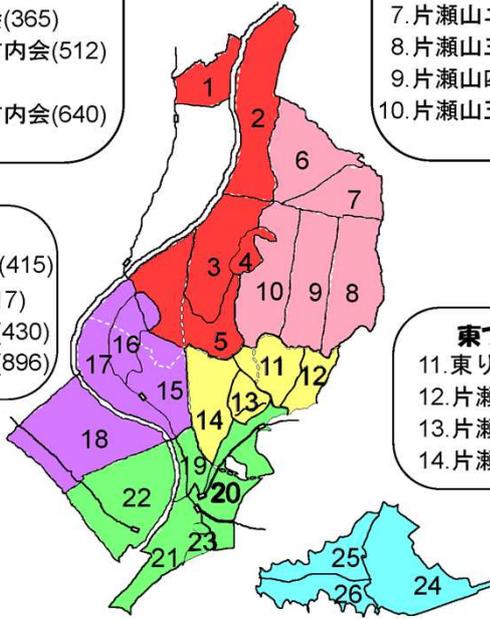
6. 片瀬山一丁目自治会(287)
7. 片瀬山二丁目自治会(250)
8. 片瀬山三丁目自治会(472)
9. 片瀬山四丁目自治会(292)
10. 片瀬山五丁目自治会(286)

西ブロック

15. 西方町内会(415)
16. 西の原会(217)
17. 御行町内会(430)
18. 西浜町内会(896)

東ブロック

11. 東り町東会(255)
12. 片瀬目白山町内会(88)
13. 片瀬中央平和会(76)
14. 片瀬三和会(240)



五町ブロック

19. 下の谷本町町内会(185)
20. 竜の口町内会(310)
21. スパナ通り町内会(630)
22. 片瀬海岸二丁目町内会(574)
23. 湘南グリーンハイツ自治会(105)

江の島ブロック

24. 江の島東町町内会(95)
25. 江の島西町町内会(50)
26. 江の島弁天会(33)

※カッコ内は世帯数

片瀬地区とオリンピック

片瀬地区自治町内会連絡協議会

会長 島山 義昭



今、片瀬地区はオリンピック開催に向けて大きく変わろうとしています。江の島大橋の3車線化および自転車通行空間の確保、かながわ女性センター跡地の利用、湘南モノレール湘南江の島

駅のパリアフリー化による改築、小田急片瀬江ノ島駅の建替え工事と周辺整備等々、既に決定したのものもありますが、現時点でも検討中のものもあります。この地区が注目を浴び、選

手をはじめ国内外から多くの人々が集まる。そのことは誇らしく思い歓迎もしますが、やはりここで暮らす私たちは、その後のことを考えねばなりません。新たにできる設備などは、果たして私たちにとっても有意義なものになるのか。

この先加速するオリンピックに向けての環境整備は、私たちの地域の発展に寄与するものであって、決してオリンピックのためだけのものになることのないように、この地区が大切にされてきたものを損なうことのないように、自治連としては潜在する課題もちろんのこと、オリンピック関連の諸々も、各地域団体と一層の情報共有、連携を図りながら活動を進めて行きたいと考えています。

片瀬地区自治会・町内会長一覧

私たちと共により良い片瀬地区を作っていきましょう



1. 片瀬弥生会
田中 誠治



2. 新屋敷親睦会
宮 悟



3. 新屋敷第一町内会
福永 義臣



4. 三部会
小池 玲子



5. 新屋敷第二町内会
北村 守良



6. 片瀬山一丁目自治会
吉岡 克己



7. 片瀬山二丁目自治会
菅麻 宏



8. 片瀬山三丁目自治会
松田 宏



9. 片瀬山四丁目自治会
植村 眞



10. 片瀬山五丁目自治会
甲斐 由美子



11. 東り町東会
中尾 克太



12. 片瀬目白山町内会
甘粕 和子



13. 片瀬中央平和会
二見 勝



14. 片瀬三和会
中島 尚之



16. 西の原会
山本 和子



17. 御行町内会
長谷川 紀夫



18. 西浜町内会
馬場 英人



19. 下の谷本町町内会
阪井 三佐男



20. 竜の口町内会
甘粕 寿一



21. スパナ通り町内会
依藤 光雄



22. 片瀬海岸二丁目町内会
田村 順子



23. 湘南グリーンハイツ自治会
渡辺 武



24. 江の島東町町内会
島山 義昭



25. 江の島西町町内会
秋岡 伸一



26. 江の島弁天会
徳江 久次

かたせNOW

片瀬の三大祭りについて

片瀬には由緒ある寺社があります。今回は三つの祭りをご紹介します。

江の島八坂神社天王祭 江島神社末社の八坂神社は、江戸時代に創建、牛頭天王を祀り「天王社」と呼ばれていましたが、明治六年に現在の社名に改称されました。天王祭は、毎年七月十四日に近い日曜日に行われます。昔、大津波で岩屋沖へ漂着した小動神社の御神体（須佐之男命）が八坂神社の創建に関わったことから小動神社との行合の祭礼です。祭は五日間にわたり執り行われ、三つの見せ場があります。一つは宵宮祭です。七つの囃子グループの御仮宮への奉納囃子で、「宮入」といい、全囃子が本囃子を奏し、厳肅にゆっくりとした調べで進み、御仮宮に向かいます。次は、神幸祭での海上渡御です。神輿は浮きつ沈みつ海上を進み、神職を乗せた船が海上で供奉し、五色や錦の旗が海風に翻り、天王囃子が船の上から勇壮に囃立てます。天と海、神と人がまさしく一体となる天王祭最大の見せ場です。最後は東浦祭典後の神輿・囃子方の腰越行きです。神輿は、腰越囃子が先導し、江の島囃子（通り囃子・新通り囃子）が随行し、龍口寺前から小動神輿も加わり、対岸の腰越に御神幸されます。

小動神社御仮宮で祭典の後、還幸が始まり、龍口寺前での両神輿の迫力あるもみあい祭りの醍醐味です。六年に一度（巳年・戌年）の大祭は最終日の還幸祭後、御神体が開帳されます。天王祭は、夏の風物詩として、神奈川の「祭り50選」に選ばれています。

片瀬諏訪神社例大祭 片瀬諏訪神社は、奈良時代、養老七年（七二三年）信濃国諏訪大社からの御分霊を上下（かみしも）両社に祀ったのがはじまりです。（御祭神：上社：建御名方富命、下社：八坂刀売命）例大祭は、八月に六日間かけて執行されます。幟立て仮宮舗設からはじまり四日目は宵宮、そして翌日神輿（文久二年再造）が東浜に降りる浜降り祭が行われ、次いで、下の谷町、東り町、西方町、西浜区、新屋敷町を、町内囃子を先頭に行列が巡る渡御祭が執行され、夕方には、龍口寺に集合した行列が下社に宮入する環還御祭パレードが始まります。最近「ぶん回し」と称され遠方からも人の集まる山車の回転が行われ大いに賑わっています。最後六日目の本社還御祭で諸儀が終わります。

龍ノ口法難会 龍口寺は、日蓮聖人が生涯最大の危機に直面した龍ノ口法難の地に建てられた霊跡本山です。毎年九月十一日から十三日にかけ龍ノ口法難会の大法要が行われます。十一日妙見堂の前庭と浄行堂前に角塔婆が立てられ、夜には講中により、太鼓、鉦、笛に纏（まとい）と夜灯が練り歩かれる万灯練り供養の奉納が盛大に執り行われます。片瀬睦の纏は、横倒し、背中回しと大きく振り回すため、頑丈かつ風切りよくつくられており成人男子用は約十キロあるとのです。翌日は本堂で終日祈願受付が行われ、夜七時頃「難除けの牡丹餅」撒きが行われます。この後万灯練り供養が行われ祭の佳境を迎え、練り供養は九時頃に終了します。午前一時すぎ、最後の大法要が終り二度目の牡丹餅撒きが行われすべての法要が終わります。ちなみに江ノ電が明治三五年九月に藤沢から片瀬（現江ノ島駅）まで開通したのも、この縁日にあわせたとも伝えられています。

※氏名は五十音順

渡辺 武	若林 直美	馬場 英人	島山 義昭	中島 尚之	鈴木 みどり	北村 守良	植村 眞	甘粕 寿一
(五町)	(東)	(西)	(江の島)	(東)	(新屋敷)	(新屋敷)	(片瀬山)	(五町)

【自治連だより編集委員】

自治会・町内会紹介(9)

地域のお寺さんと交流をして

⑪ 東り町東会

東り町東会は、昔から人と人とのつながりが密であったと聞いています。しかし昨今そのつながりが希薄になってきたように思っています。このような状況下、今年一月社協主催の交流会では地域活性化のために「お寺さんの活用を考えてみては」との提案がありました。我々東会でも、真言宗密蔵寺さん境内は、緊急時の一時避難場所にも、また防災訓練や町内清掃時等の集合場所にもお願いしています。そこで、場所をお借りするだけでなくお話を伺いたい、法話会を企画しました。



大西弘全住職の快諾をいただき、法話の演題は「釈尊は我々に何を伝えたかったのか」、開催日は4月30日と決まりました。当日は天気に恵まれ、普段はなかなか足を踏み入れることのないご本堂にお越し下さる守本尊の功德を頂きながら、老若男女45名の参加を得ました。

また法話の前には、藤沢市作成の片瀬地区津波DVDを放映し、ご覧になったご住職からは「緊急時に命を頂ながら、老若男女45名の参加を得ました。」とのお話もいただきました。

法話抜粋
釈尊の教え…人間であれば理解できる事を言っている。宗教とか民族など関係ありません。釈尊は「人は生まれながらにして苦しみを背負っていると感じたから」それを解決するために、六年間の厳しい修行と一週間の座禅の末、悟りの道筋を得ることになった。

- 一 宇宙の真理を悟った
- 二 苦の原因を悟った
- 三 苦からの解脱

これらは見えないもので、それを釈尊は見えるように悟った。今はそれを現代の科学で説明して理解させる事ができる。

宇宙の真理とは「諸行無常」
全ての物は変化し、金やダイヤモンドは永遠に変化しないと思っただから仏像・神像など金銀宝石で飾った。しかし金を目に

は見えない程極小化していくと、金とは違うものになる。ダイヤも極小化していくと炭素になり、ダイヤとは違う物に炭素は、「分子→原子→素粒子」と細かくなり見えなくなる、それが諸行無常である。

諸法無我…全ての物は独立した存在ではなく、お互いに作用する、という教えである。全ての物は関連しあっている、孤としての存在は何もないんだという理論。水は酸素水素の化合物である。全ての物は関連しあっている、全ての物は変化すると釈尊は説いている。釈尊は修行によって素粒子の世界を見極めた。

それが諸法無我である。それを見極める為に厳しい修行をしたという事です。

防犯の取り組みについて

片瀬地区では「かけつけネット・かたせ」という地域ネットワークにより、協力者に不審者情報をいち早くeメールで配信し、子どもたちの見守りやパトロール活動を行っております。情報の共有と地域活動の連携を進め、子どもたちの安全を守り、安心できる地域の実現を目指しております。

（お問い合わせ）
片瀬市民センター 電話：27-2711

平成29年度 自治連総会報告

平成29年5月16日（火）に開催された平成29年度総会では、平成28年度の事業報告及び収支決算報告、平成29年度事業計画及び収支予算などが審議され、すべて承認されました。

今年度の自治連役員

会長	島山 義昭	【江の島】
副会長	甘粕 寿一	【五町】
副会長	中島 尚之	【東】
会計	北村 守良	【新屋敷】
監事	馬場 英人	【西】
監事	植村 眞	【片瀬山】